

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会

施設面会等について

当施設では、緊急時を除く
入居者様への面会並びに外出・
外泊を禁止、「警戒ステージ」
になるまでは対面での面
会を行わない事としてお
ります。LINE面会につい
ては、通常通り予約の受

付を行っておりますが、急な予
約につきましては対応出来ない
場合もございますので、事前予
約をお願い致します。御家族の
皆様には何かと御不便をおかけ
しておりますがご理解ご協力を
宜しくお願い致します。

感染症拡大防止に
ご協力ください



幻想的な灯りが灯る

2月10日に3年振りとなる「むつみ荘雪
ほたる」が行われました。1階ロビーでは
ランタン作りの様子を見ながら、職員お
手製の甘酒やココアが振舞われ「1階に飲
み物を飲みに行っても良かった、すごくお
いしいね」と好評でした。夕食もおにぎ
りや三平汁などイベントらしい献立に変

流室から見た利用者は「部屋からも灯り
が見えて良かったよ。とってもきれいだった。」「何年かぶりに楽しかった。また
来年もできるといい
ね。」と喜んでいま
した。小規模でした
が開催できて本当に
良かったです。



更したことで、大
変喜ばれていまし
た。暗くなりラン
タンに明りが灯る
と、居室や各
ユニット、交



養護被服購入

1月25日岩内町の馬場呉服店様と蘭
越町の坪田呉服店様のご協力により
被服購入が行われました。衣類だけ
でなく、タオルやスカーフなどたく

さん販売して
いただきました。
「これと
これにする！」
とすぐに決め
る方や、お店
の方に選んで頂く方もおり、みなさん
楽しそうに買い物されていました。



「また来年も元気な顔見せてね」
と言われ来年の開催を楽しみに
されておりました。ご協力してい
ただいた呉服店様にお礼申し上げ
ます。



節分

2月3日各ユニットで節分の行事が行わ
れました。ボウルにお菓子を入れてお玉
ですくったり、鬼に扮した職員に「鬼は
外！福は内！」と大きな声で豆を投げ、
邪気を祓いました。みなさんととても楽し
そうにされており、これで今年もたくさ
んの幸せが訪れると思います。



ユニット紹介 ほんわかユニット

ほんわかユニットでは、利用者が毎日カーテンを閉めてくれたり、新聞を畳んでくれたりとても助かっています。自分で爪にマニキュアを塗り見せてくれる方も居ます。とても綺麗に塗られており、それをみた方から「私も塗りたい!!」と声が上がっていました。

管理栄養士主催のクレープパーティーをした時には、自分で好きな具材を巻いて食べ、普段あまり食べない方も「美味しい」と3個ほど食べられており職員も驚きました。これからも皆さんの興味のある事をどんどん行って行けたらいいと思います。



ユニット紹介 きらりユニット

きらりユニットは、利用者18名で生活をしています。90代の方が多くですが、年齢を感じさせない程皆さん日々元気に暮らしています。植物が好きの方が多く、ユニット内の鉢植えに毎日お水をあげたり、話しかけているからか、きらりの植物たちはとても元気に

育ち、綺麗な花を咲かせてくれます。外出等制限中の為、大変ご不便な思いをさせてしまっていますが、毎日ユニットで過ごす利用者の皆さんと職員の距離を縮めるいい機会なのではと、積極的に皆さんと一緒に過ごし、安心できるユニットにしていきたいと考えています。少しでもきらりユニットで過ごす時間が楽しいものとなるよう職員一同これからも努力していきたいと思



入居状況



【特養】 2023.2.22

市町村	入居	ショート
泊村	27名	
岩内町	12名	
神恵内村	1名	
共和町	8名	
寿都町	1名	
余市町	2名	
札幌市	1名	
平取町	1名	
黒松内町	1名	
積丹町	1名	
八雲町	1名	
	56名	0名

入居定員数60名
(ショートは空床利用)

むつみ荘では、入居等に関するご相談を随時受け付けております。入居に関するご質問・ご相談は、養護・特養共に【生活相談員】までお気軽にお問い合わせください。

【養護】 2023.2.22

市町村	入居	短期
泊村	20名	7名
共和町	6名	
余市町	1名	
札幌市	1名	
	28名	7名

入居定員数30名、短期10名



施設長雑感

厳しかった寒さが和らぎ、春の到来が感じられる時期となりました。2020年の1月から蔓延が続く「新型コロナウイルス感染症」につきましては、最近では、新規感染者数が3桁の前半になるなど、ピークアウトの兆候が見えつつあります。また、国においては、3月13日を目途にマスクの着用を個人判断にすることや5月8日にはコロナ感染症を感染症法上の5類へ移行することが検討されており、今後様々な方針が示されるものと思われます。さらには、インバウンドの規制緩和や全国旅行支援といった経済活動を活性化するための取り組みも一段と加速化しており、先月開催された札幌雪祭りや小樽

運河観光等に道内外はもとより海外からも多くの観光客が来訪しております。これらのことから、本施設といたしましても、引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策の徹底をしながら、これら国の動向を踏まえ、来年度に向けて、対面での面会の再開や施設イベントの開催などについて鋭意検討を行っており、早期にご家族や地域の皆さまとの交流が再開できますよう、積極的に施設イベントの開催や泊村のイベントへの参画を進める考えでありますので、関係者の皆様には、もう暫くの間、ご不自由やご心配をおかけしますが、引き続きご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

施設長
高橋 英俊

